

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第10週の発生動向

・重症熱性血小板減少症候群 (S F T S) (全数把握対象) の報告が日南保健所から 1 例あった。県内での報告は 11 例目となった。発症は 2 月下旬。60 歳代女性、ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴もなかった。

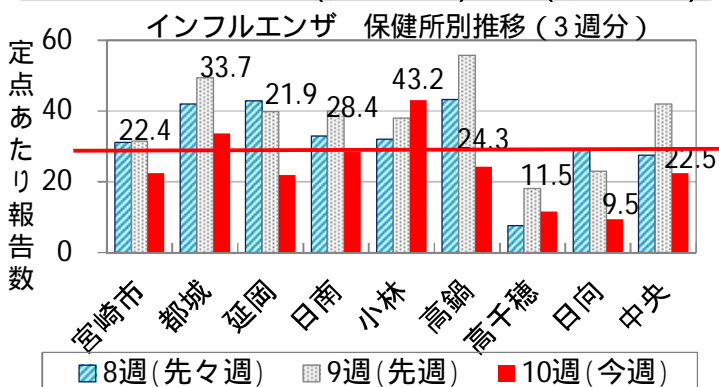
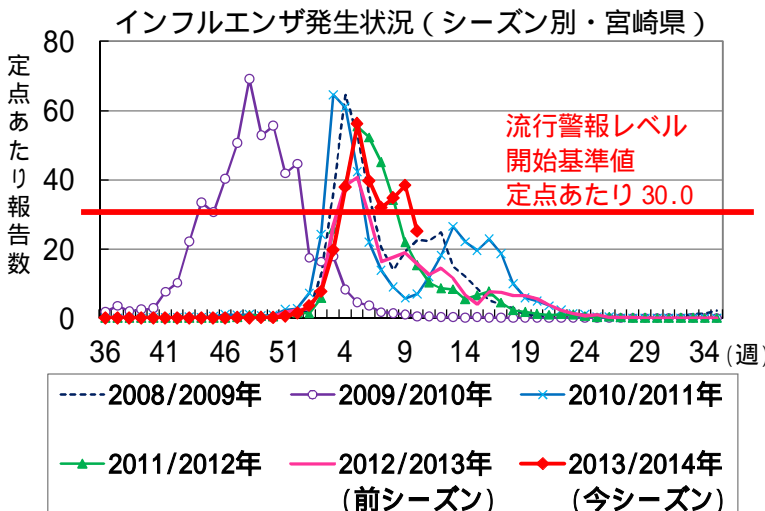
・定点医療機関からの報告総数は 2,296 人 (定点あたり 49.3) で、前週比 78% と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

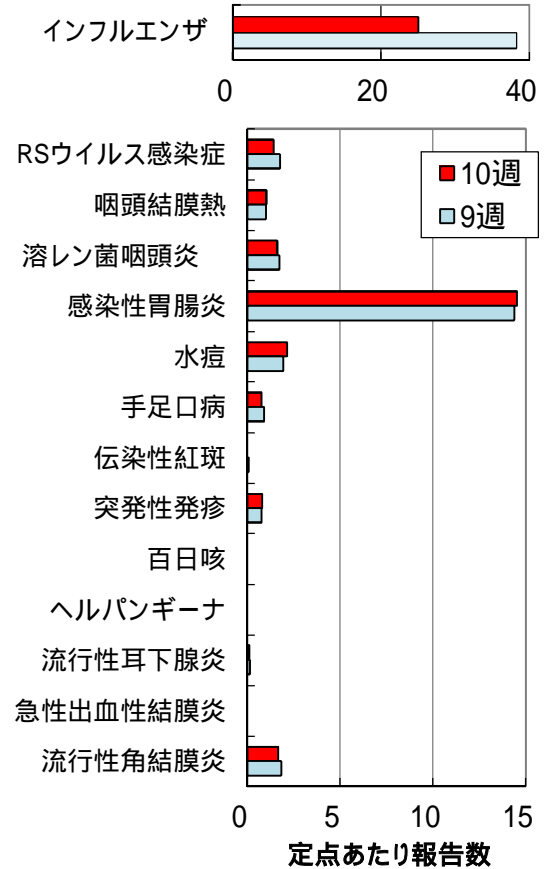
【インフルエンザ】

・報告数は 1,478 人 (25.1) で前週比 65% と減少した。例年同時期の定点あたり平均値* (12.3) の約 2 倍である。小林 (43.2)、都城 (33.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6 ~ 9 歳が 32%、10 ~ 14 歳が 21%、15 ~ 19 歳が 3%、20 歳代 ~ 50 歳代が 13%、60 歳以上が 3% を占めた。

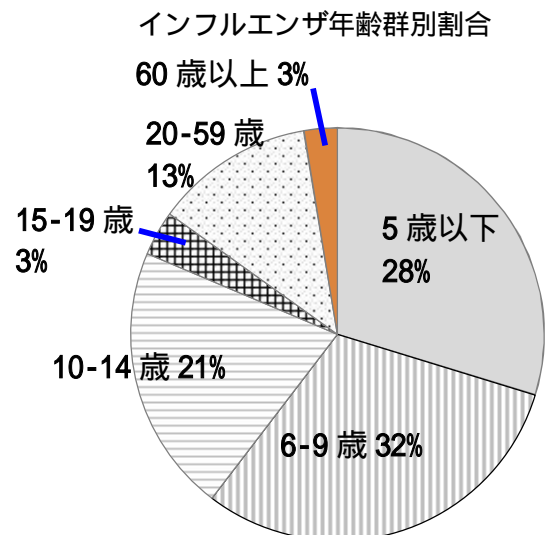
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



(前週との比較)

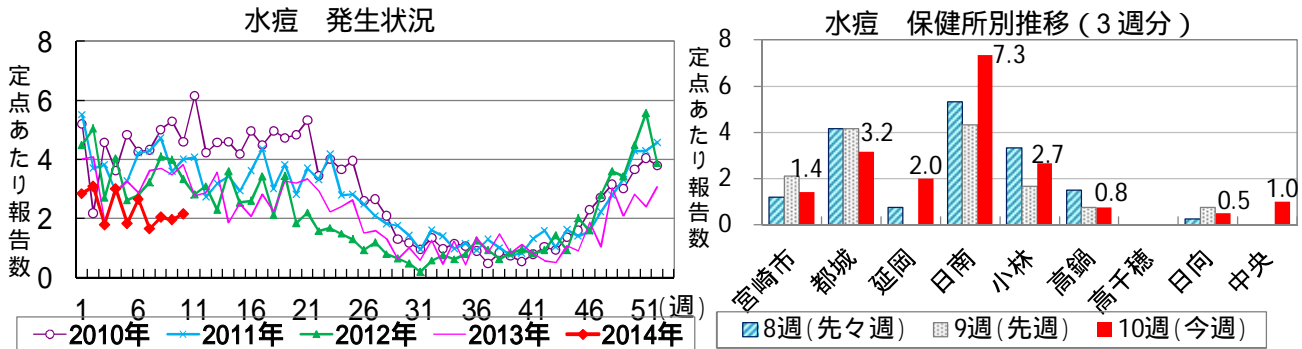


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



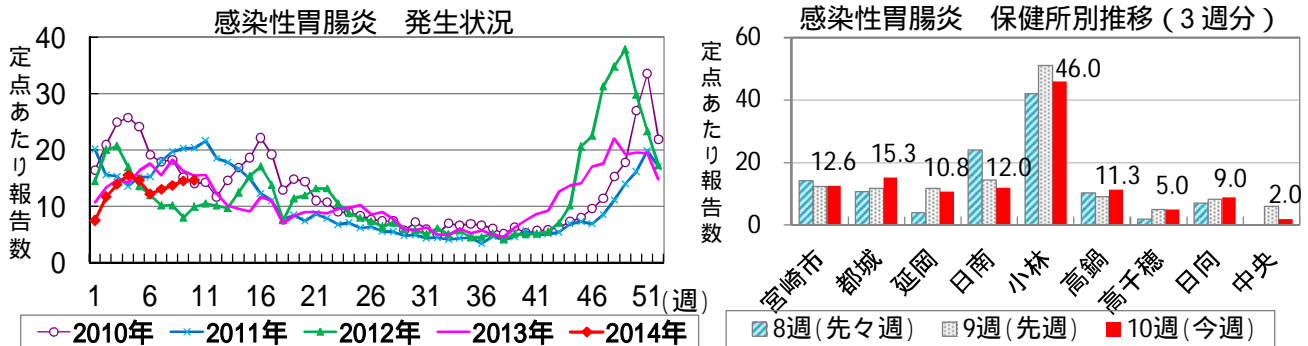
【水痘】

・報告数は77人(2.1)で前週比110%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値*(4.0)の約半数である。日南(7.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約8割を占めた。



【感染性胃腸炎】

・報告数は523人(14.5)で前週比101%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(14.8)と同程度である。小林(46.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約半数を占めた。



基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：日南保健所管内から1人報告された。患者は8歳。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(33.7)
延岡	なし
日南	水痘(7.3)
小林	インフルエンザ(43.2)、咽頭結膜熱(3.0)、感染性胃腸炎(46.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)

全数把握対象疾患 (10週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症： 報告なし。
- 2類感染症： 結核3例。
- 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症： A型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群1例、ボツリヌス症1例。
- 5類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	50歳代	肺結核	なし
			80歳代	肺結核	咳、痰
		都城	80歳代	肺結核	痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	患者	腹痛、水様性下痢、血便、発熱 O血清型：不明(VT1産生)
4類	A型肝炎	宮崎市	20歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常、吐気、嘔吐
			60歳代	患者	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
			60歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	重症熱性血小板減少症候群	日南	60歳代	患者	食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
	ポツリヌス症	宮崎市	10歳代	不明	弛緩性麻痺、複視、嚥下困難、口渇、便秘、筋力低下、呼吸困難

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2013年3月9日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
ヒトヘルペスウイルス1型	2	男	2014.2.3	ヘルパンギーナ、40.3、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2014.2.28
A型肝炎ウイルス	66	女	2014.3.5	急性A型肝炎、38.0、胃腸炎、黄疸、肝炎	便	2014.3.7

ヘルパンギーナと診断された小児からヒトヘルペスウイルスが分離された。
急性A型肝炎と診断された成人女性からA型肝炎ウイルスが検出された。

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌(O157:H7)	70歳代	男	2014.3.1	EHEC疑	便	2014.3.7

全国第9週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は41.0で、前週比104%と横ばいであった。今週増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

インフルエンザの報告数は140,739人(28.4)で、前週比104%と横ばいであった。福井県(51.7)、大分県(42.1)、福岡県(41.6)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の26%、6~9歳が29%、10~14歳が20%、15~19歳が3%、20歳代~50歳代が18%、60歳以上が4%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は7,222人(2.3)で、前週比108%と増加した。山形県(5.7)、新潟県(5.3)、富山県(4.5)からの報告が多く、年齢別では4歳から6歳が全体の約4割を占めた。

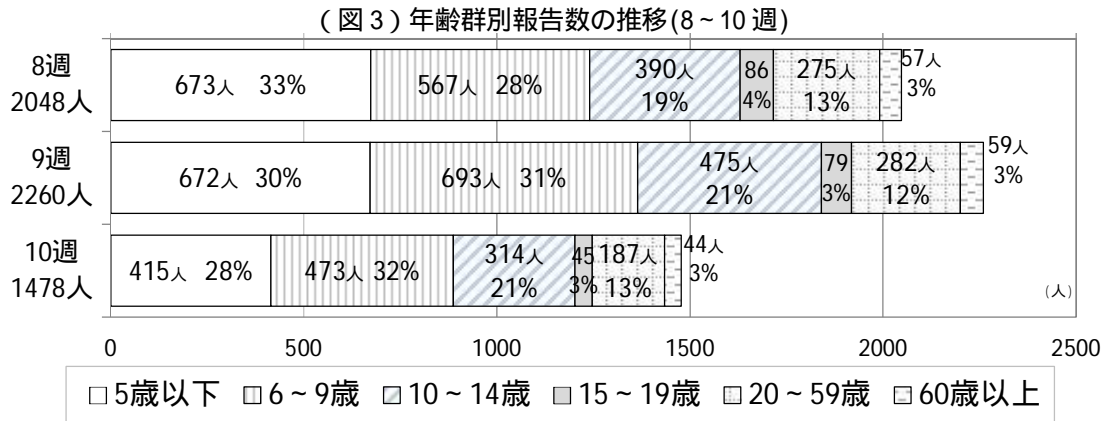
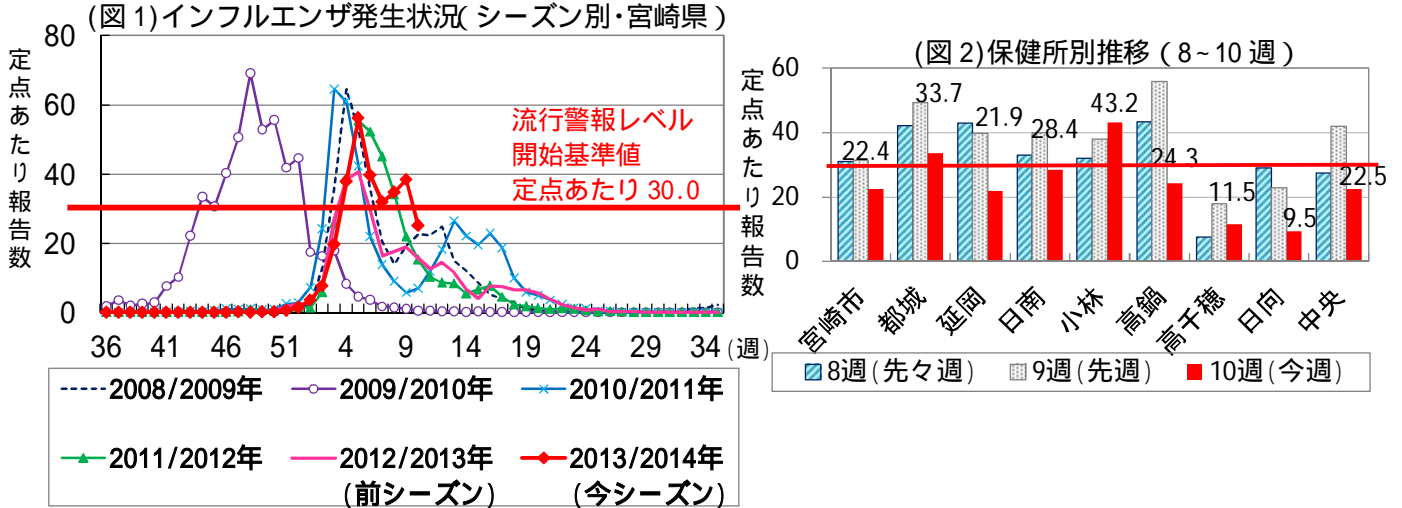
全数把握対象疾患（全国第9週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	313例			
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	1例	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	39例	重症熱性血小板減少症候群
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	12例	レプトスピラ症
5類感染症	アメーバ赤痢	15例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群
	ジアルジア症	1例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症
	梅毒	12例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん
	麻しん	15例			

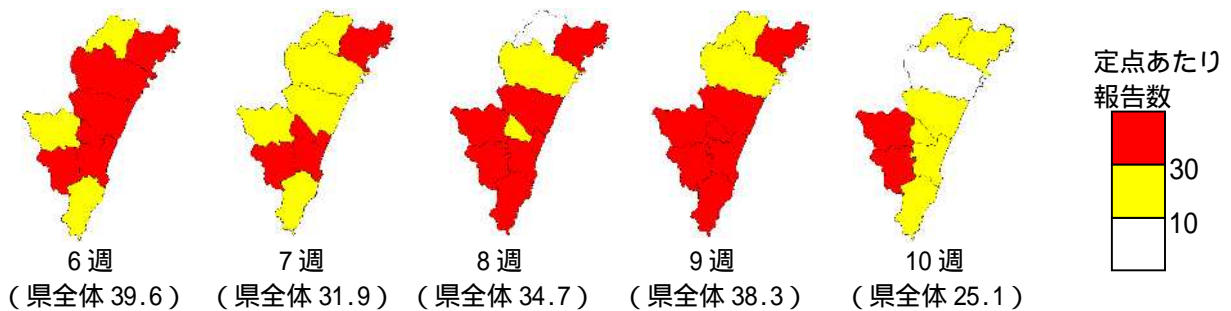
インフルエンザ情報《県内第 10 週、全国第 9 週（再掲）》

県内第 10 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 3 月 3 日～3 月 9 日までの 1 週間で 1,478 人（定点あたり 25.1）の報告があり、前週の約 7 割に減少した（図 1）。例年同時期の定点あたり平均値（12.3）の約 2 倍である。保健所別報告数の推移を（図 2）、年齢群別報告数の推移を（図 3）に示す。



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014 年 第 6~10 週



全国第 9 週インフルエンザ発生動向

平成 26 年 2 月 24 日～3 月 2 日までの 1 週間で 140,739 人(定点あたり 28.4)があり、前週比 104%と横ばいであった。福井県(51.7) 大分県(42.1) 福岡県(41.6)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の 26%、6~9歳が 29%、10~14歳が 20%、15~19歳が 3%、20歳代~50歳代が 18%、60歳以上が 4%を占めた。

月報告対象疾患の発生動向 <2月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比103%と横ばいであった。また、昨年2月(2.5)の約1.3倍であった。

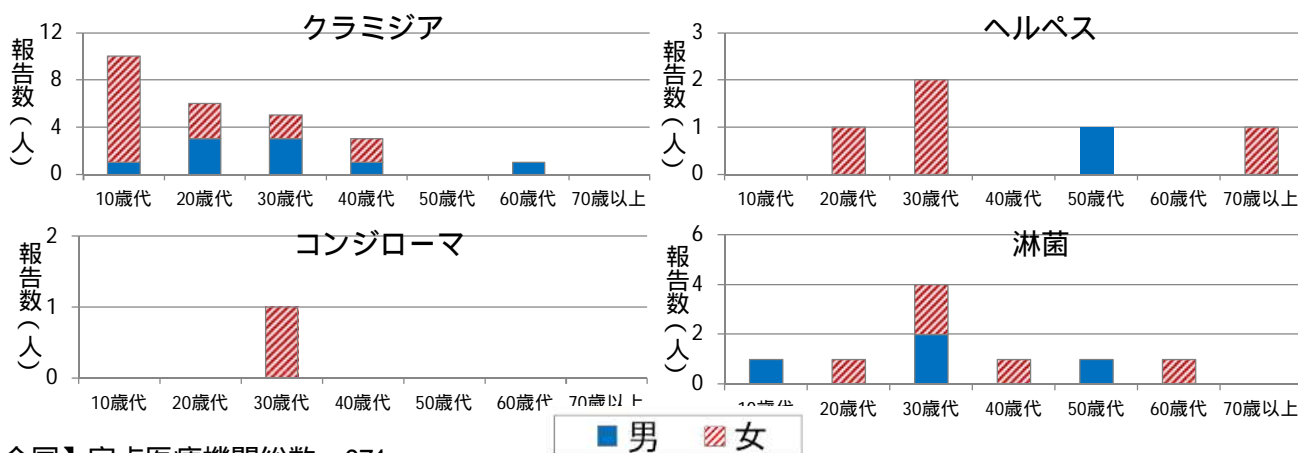
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月の約9割、前年の約1.8倍であった。10歳代が全体の約4割を占めた。(男性9人・女性16人)

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約3倍、前年の約6割であった。(男性1人・女性4人)

尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び前年の約半数であった。(女性1人)

淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月の約1.5倍、前年の約1.3倍であった。30歳代が全体の約4割を占めた。(男性4人・女性5人)



【全国】 定点医療機関総数：971

定点医療機関からの報告総数は3,760人(3.9)で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,888人(1.9)で前月比93%、性器ヘルペスウイルス感染症664人(0.68)で前月比96%、尖圭コンジローマ419人(0.43)で前月比90%、淋菌感染症789人(0.81)で前月比94%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比217%と増加した。また昨年2月(7.3)の約半数であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約2.4倍、前年の約半数であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,721人(3.6)で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,511人(3.2)で前月比93%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症191人(0.40)で前月比103%、薬剤耐性緑膿菌感染症19人(0.04)で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第10週(03月03日～03月09日)

疾病名		第9週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2260	1478	359	337	153	142	216	146	23	57	45
	定点あたり	38.31	25.05	22.44	33.70	21.86	28.40	43.20	24.33	11.50	9.50	22.50
RSウイルス 感染症	報告数	63	51	5	3	15	3	3	6	1	14	1
	定点あたり	1.75	1.42	0.50	0.50	3.75	1.00	1.00	1.50	1.00	3.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	36	37	11	2	5	5	9		2	3	
	定点あたり	1.00	1.03	1.10	0.33	1.25	1.67	3.00	0.00	2.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	58	13	7	20	1		3	2	11	1
	定点あたり	1.72	1.61	1.30	1.17	5.00	0.33	0.00	0.75	2.00	2.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	518	523	126	92	43	36	138	45	5	36	2
	定点あたり	14.39	14.53	12.60	15.33	10.75	12.00	46.00	11.25	5.00	9.00	2.00
水痘	報告数	70	77	14	19	8	22	8	3		2	1
	定点あたり	1.94	2.14	1.40	3.17	2.00	7.33	2.67	0.75	0.00	0.50	1.00
手足口病	報告数	33	28	6	3			6	9	1		3
	定点あたり	0.92	0.78	0.60	0.50	0.00	0.00	2.00	2.25	1.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	29	14	4	4	2	2	2		1	
	定点あたり	0.78	0.81	1.40	0.67	1.00	0.67	0.67	0.50	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	4	2		1					1	
	定点あたり	0.14	0.11	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	10	8	1	1						
	定点あたり	1.83	1.67	2.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～10週)

2類感染症	結核	29例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)			
4類感染症	A型肝炎	7例(3)	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)	つつが虫病
	ポツリヌス症	1例(1)	レジオネラ症	1例	
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症
	梅毒	2例	破傷風	1例	麻しん

()内は今週届出分、再掲